

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日:2020年3月31日

事業所名:ピタゴラ未来塾須磨

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	療育に必要なスペースを確保している。	「はい」(出来ている)の評価6割	空間利用の工夫を行い十分なスペースを確保して療育を行っていく
	2 職員の適切な配置	法令に基づいた人員の配置を行っている。	「はい」(出来ている)の評価9割	今後も職員のスキルアップに努め、手厚い人員配置を確保していく
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	適切な設備整備を行っている。	「はい」(出来ている)の評価7割	視覚支援を行う等予め排除出来る危険を無くしていく
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	適切な生活区間を確保している。	「はい」(出来ている)の評価9割	今後も適切な生活空間を維持していく
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	開始時のミーティングや終礼時などコミュニケーションを取るよう工夫している		
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施なし		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	必要な内部研修を実施している 外部で実施される研修に参加している		
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者への面談の機会を作っている アセスメントを丁寧に行い、ニーズや課題を基に 個別支援計画を作成している	「はい」(出来ている)の評価10割	今後も適切なアセスメント実施や保護者面談の実施により、ニーズ・課題の分析を行い個別支援計画の作成・更新を行っていく
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	利用者の特性を鑑みながら興味に合わせて適切なプログラムに参加するように助言している	「はい」(出来ている)の評価9割	今後も、利用者の特性に鑑み、必要な個別・集団プログラムを実施し、適宜組み合わせ適切な支援を提供していく
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	個別支援計画に記載している	「はい」(出来ている)の評価9割	今後も適切な支援項目・支援内容を記載した個別支援計画を作成していく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	それぞれの個別支援計画を職員間で共有し、目標を念頭においた支援を実施している	「はい」(出来ている)の評価9割	サービス提供記録に支援目標を記載するなど、常に全職員が児童の目標を意識して支援出来る様周知していく
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	ミーティングで企画を出し合い、プログラム立案を行い 季節・年中行事等に照らしたプログラムを作成している		
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	長期休暇や休日は、平日行えない趣向を凝らしたプログラムや一日プログラムを提供するなど、利用者の利便性を考慮した支援を行っている		
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	繰り返すことで定着を図るプログラムもあるが、その中でも 内容を精査、検討し提供している それ以外のプログラムにおいては毎回違った内容を提供している	「はい」(出来ている)の評価9割	利用者の興味が継続していき日々新たな体験の機会を提供していくプログラムを創設していく
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	開始時のミーティングで本日の支援内容や役割分担を確認している		
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	終礼時にその日の様子について話し合い、気付いた点、療育の改善点について連絡ノートに記録する		
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	サービス提供記録を記入し サービスが適切であったか話合っている		
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	6ヶ月に一度実施している		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	実施なし		
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	実施なし		
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	実施なし		
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	実施なし		
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	実施なし	「いいえ」「わからない」の評価8割	必要であれば実施を検討する
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	R1.5月開所したので、徐々に地域のボランティア活動に訪問を依頼するなどし地域資源の活用を目指している		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時、支援計画の更新の面談時、質問があった時など必要に応じて丁寧に説明している。	「はい」(出来ている)の評価10割	引き続き適切に実施していく
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	契約時、支援計画の更新の面談時、質問があった時など必要に応じて丁寧に説明している。	「はい」(出来ている)の評価10割	引き続き適切に実施していく
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	なし	「はい」(出来ている)の評価3割	今後要望があれば実施を検討する
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	毎回、帰りの送迎時に保護者に本日の様子を伝え、共通理解に努めている。	「はい」(出来ている)の評価8割	丁寧に振り返りを伝え、日頃からの保護者との共通理解に努める
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者からご相談のご要望がある場合には、定期的な面談の機会に限らず、個人面談等提案、実施している。	「はい」(出来ている)の評価8割	保護者からの相談の要望があるときには、定期的な面談の機会に限らず、個人面談等提案、実施していく
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	実施なし	「いいえ」の評価7割	必要であれば実施を検討する
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	実施している	「はい」(出来ている)の評価10割	引き続き適切に実施していく
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	適宜、終礼などで職員に伝えている。	「はい」(出来ている)の評価10割	引き続き適切に実施していく
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	実施している スケジュール・お知らせ等を発信	「はい」(出来ている)の評価7割	現在のところ当月の行事予定のみ、お知らせの形で発信しているが、今後定期的な会報等の発行も検討する
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	鍵付き書庫使用し、個人情報に記載した書類を管理している また廃棄する際は、その都度シュレッダーを使用している	「はい」(出来ている)の評価9割	引き続き適切に実施していく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各種マニュアル策定済	「はい」(出来ている)の評価7割	現状に即した各種マニュアルを整備している。また気象警報発令時のサービスの有無・対応について、明確な指針を作成している。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年2回 防災訓練を実施	「はい」(出来ている)の評価6割	引き続き半年ごとの避難訓練を実施し、今後実施したことを保護者等にお知らせに掲載することで周知を徹底する。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	年に1回職員に研修を実施		
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	なし		
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	なし		
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット報告書を作成し、内容を検証するなど、職員間で再発防止に向け周知徹底を行っている		